

## 駿東郡清水町 K邸 完成しました!

K様は、平成 22 年 5 月に初めて来社して展示ルームの見学をしてくださいました。同年 8 月に、住まい塾を受講していただき、地盤調査・環境調査を経て 22 年 11 月より、プランの検討が始まりました。約 1 年かけて打合せを重ね、昨年 11 月に上棟し、この度新居が完成しました。3 月 31 日にはお引き渡しも済みしました。



## 藤枝市 F邸 木工事・外装工事 順調に進んでいます。



お施主様の塗装作業も完了しました。まだ、お子様が小さく大変だったことと思いますが、順調に進めてくださったおかげで、床材・天井材・腰板の塗装が全て終了しました。お疲れ様でした。



# 木くぼり

## 樹木の不思議 61

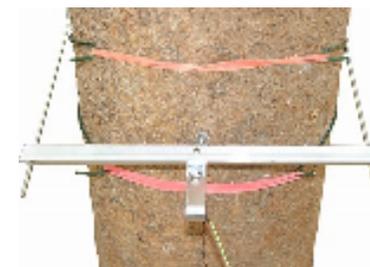
### 木はダイエットできるか?

木の成長は、枝先の成長点と樹皮の内側の形成層での細胞分裂として起こり、増えた細胞がそれぞれふくらむことで私たちの目に映るようになります。まるで衣服で着ぶくれするようにして大きくなっていくわけです。そのとき成長にとって重要な、光合成工場としての葉のもとである芽もつくられます。成長を続けるためには木は太りつづけなければならないのです。生きている限り、ダイエットで「やせる」ことは夢にすぎないのです。

幹の太さの細かな変化を測るためのいろいろな道具が発明されてきました。デンドロメーターなどと呼ばれています。幹にバンドを巻きつけ、太りで生じるバンドの「ずれ」を測るものです。他にもさまざまな仕組みのものがあります。これらのおかげで、一時的な現象ではありますが、「やせ」が観測されるようになりました。実は、乾燥と寒さが「やせ」を引き起こす二大原因です。

形成層で分裂した細胞は水でふくらみ、しだいにセルロースやリグニンなどの物質がたまって硬くなり木化していきます。できたての組織はまだ汁気が多く、ピチピチした軟らかい状態です。このような時期に乾燥などで水分を奪われてしまうと、厳しい減量が人を、しおれさせるように、わずかですが幹も縮んでしまいます。この縮みは、また水分を与えることで回復させることができますが、いつまでも乾いたままで放っておくと、取り返しがつかなくなるのでご注意ください。

ほかに、冬の寒さが幹を一時的に「やせ」させることがあります。寒い地方では真冬の冷え込みによる木の収縮で、幹に巻きつけておいたバンド式のデンドロメーターがずり落ちることもあるほどです。



デンドロメータ

